



60周年記念

体 育 祭

「これぞ秋晴れ!」と言わんばかりの好天に恵まれた「創立60周年を記念する体育祭が9月20日(日)に開催されました。子どもたちもこの日をどれほど待ち望んでいたか、当日の朝から落ち着かない様子でした。

しかしながら、入場行進が始まると、凜々しい表情に変わり堂々とした入場行進ができました。

出場種目は、3種目でしたが自分の力が発揮できたのではないでしょう。

特に、集団演技(旗体操)は、素晴らしい演技構成がなされており、見る人に感動を与えることができたのではないかと思います。



ここまで来るには、集団演技に対する子どもたちの取組にも涙ぐましい努力がありました。1学期また、夏休みも練習を積み重ねてきただけではなく、夏休みも動画を見ながらの練習、それを毎日繰り返しながら体で覚えていました。

正にその努力が報われたと言ってもいいのかも知れません。

出来映えは、ご覧になったとおりです。ご感想はいかがだったでしょうか。また、他の初等部の競技種目についてもご意見等あれば、担任の方で構いませんのでお聞かせください。【全員ルー:1年生スタート】



『聖火ルー:『岩下侃耀くん』



『入場行進団旗:力武亮磨くん』



まだ、これからも子どもたちが発表する場がありますので、保護者の皆様方も楽しみにしながら、子どもさんの成長をご覧いただければ嬉しく思います。



『徒競走:6年生』

全国学力調査から考える

8月末に全国学力調査の結果が新聞に公表されました。都道府県の順位はともかく、結果として基礎知識をみるA問題と応用力をみるB問題を比べると国語・算数とも正答率はA問題の方がポイントが高い。という結果が出ています。結局、基礎はできていても応用する力が不足しているということになります。特に国語では、新聞の記事から必要な情報を読み取り、複数の条件に合わせて書く・・・など日常生活と結びつけた問題が見受けられました。その中で、新聞のコラム形式で書かれた文章を読み、筆者が自分の思いや考えを根拠づけるために引用している言葉を書く問題は、全国の正答率が20%(本校28%)でした。また、学校新聞を想定した問題ではインタビューをした内容をまとめることに苦手意識が強い傾向が続いています。(正答率は4割弱)

学校・家庭でも新聞やインターネット等を活用し、多くの情報から必要な情報だけを選び取る練習や「ある人」に手紙を書いたり、話をするための必要な情報を収集し、原稿を書いたりすることが大切です。そして、誰に何をどのように伝えるか、伝える相手を意識することです。このような体験は学校だけでなく家庭での体験も大きいものがあると思います。様々な伝達方法がある中で、忘れ去られているのがやはり、「書いて伝える。」ということかもしれません。

それから、「問題文を読み取れないために、問われている問題が分からない。」ということも大きな問題です。そのことを解決するためには



★ 本をすらすら読めるように、音読をがんばる。

「100回読めば必ずと意味が分かる。」という教えがあります。100回は多少大きいかもしれません。でも実際に音読を何度も繰り返していると自然と暗記してしまいます。そして、感情のこもった読み方ができるようになります。ある研究者の話によると、ありとあらゆる人間の活動の中で、もっとも脳が活性化している学習は音読であるということが分かったそうです。学校でも、子どもたちが発表できる場を設けていますが、中には暗記して発表する姿も見られるようになってきました。

★ 漢字が読め、言葉の意味が分かるようになるための学習

分からない漢字・言葉があったら、中・高学年では自分で調べることができるように指導しています。「自ら学ぶ力」を育てるためには、学習環境を整えることも大事になります。めんどくさくならず、じっくりと取り組める環境づくりからしっかりと学習の習慣が身に付けられます。そのためには、御家庭の協力が必要です。よろしくお願ひします。

お知らせ～特別TV番組 学園紹介 「やかぜの学び舎」～

TV 放映

神村学園

神村学園の紹介がTVで放映されます。前回と違った神村学園を紹介できるのではないかと思います。

10月3日(土) MBC 16:30~17:00

〜〜 見逃さないよう、録画の準備を! 〜〜

